

平成24年度
(第3四半期)

広貫堂グループ IR情報

株式会社 広貫堂

○ 事業の概況 (業績、事業運営等の概況)

(財務面) 売上面においては前年同期比105.7%、計画比93.9%の実績で推移しました。経常損益については、前年同期比2億3500万円の増加、計画比9000万円の減少となりました。項目としては、販売管理費面においてはコスト削減が順調に進み前年同期比3800万円の減少となったものの、製造原価が前年同期比6億2000万円の増加となり、売上原価を押し上げる要因となりました。

(事業運営面) 主に受託製品を取り扱う医薬品事業部が前年同期比111.2%の増加となり好調であり、グループ会社への売上也順調であったため前年同期比103%の増加となりました。グローバル展開と致しましては、コリア広貫堂が韓国国内の売上及び日本向けの輸出を伸ばした事により好調でした。

○ 課題への取組み

本社4部門の各目標を達成するため、進捗管理をより推進します。また、利益を圧迫する要因となっている製造原価の増加に対しても、改善を図ります。

○ トピックス、適時情報

1. 広貫堂グループ会社の日本薬剤が広貫堂メディフーズを吸収合併しました。両社の販路は重複が多かったため、合併し新たな食系販売スタイルの確立を目指します。
2. タイにおいてOTC医薬品の輸入許可を取得致しました。バンコクを中心としたドラッグストア等での販売拡大を目指します。

○ 業績の概況 (広貫堂・単体) (第3四半期、平成24年4月～12月)

(千円)

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
売上高	8,092,437	8,244,576	8,205,828	8,679,992
経常利益	163,873	-150,462	-210,310	25,354

広貫堂グループ

○ 連結経営成績に関する定性的情報

売上面においては前年同期比103%で4億1000万円の増加、年間目標額の70.2%の進捗状況です。増加要因としては滑川工場に新設した600bpmを使った新規ミニドリンクの売上が好調だった日本薬剤、呉羽工場の稼働が本格化した医薬品事業部が挙げられます。売上原価は本体製造コスト要因にて前年同期比107%で5億2000万円の増加となっており、経常損益は前年同期より1200万円減少の実績となりました。黒字化に向け第4四半期も全社挙げて取り組んで参ります。

○ 業績の概況 (広貫堂グループ・連結) (第3四半期、平成24年4月～12月)

(千円)

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
売上高	10,012,186	10,399,273	10,388,842	10,799,805
経常利益	373,682	-43,983	-139,583	-151,604

平成24年度
(第3四半期)

広貫堂グループ IR情報

グループ各社

薬都広貫堂 株式会社

○ 事業の概況 (業績、事業運営等の概況)

(財務面)

第3四半期でリニューアル製品2品目、新製品5品目を発売しました。売上高は26億5000万円の前年同期比99.2%、目標比88.0%で推移し、経常利益は600万円の前年同期比13.0%、目標比10.7%と残念ながら減収減益で第3四半期を終えました。

(事業運営面)

配置市場に求められる製品を開発・発売する一方、適切な製品の統廃合を推進していきます。なお、第3四半期では医薬品2品目、健康食品2品目の新発売およびリニューアル発売を予定しております。また、製品とサービスを組み合わせた新ビジネスモデルの構築に取り組みます。

○ トピックス、適時情報

第3四半期では次の製品を発売しました。

- ・第②類医薬品 : マルコミンEV
- ・第2類医薬品 : バイスエル キャベコリンEX 実母散
- ・第3類 医薬品 : サンリキソセブン ファイトタイムV
- ・健康食品 : グルコサミンパウチ
- ・清涼飲料水 : おいしい乳酸飲料

○ 業績の概況 (第3四半期、平成24年4月～12月)

(千円)

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
売上高	2,857,614	2,822,681	2,672,538	2,650,010
経常利益	95,637	57,384	46,623	6,078

日本薬剤 株式会社

○ 事業の概況 (事業運営、業績等の概況)

・平成24年10月1日付けにて当社を存続会社とし広貫堂メディワーズ㈱を吸収合併しました。

(財務面)

売上高は、100mLドリンクなどの販売増が寄与し、前年同期比105.7%の36億600万円となりました。経常利益は前年同期比69.6%の9500万円となりました。

(事業運営面)

メディカルサポート事業部およびヘルスケア事業部では市場ニーズに応えた製品の開発を進めております。年間を通じて順次製品を上市しています。

○ トピックス、適時情報

1.弊社取締役 岩城義則は病氣療養中のところ平成24年11月2日に逝去し、同日をもって取締役を退任いたしました。ここに生前のご厚誼を深謝し、謹んでお知らせいたします。同取締役の逝去、退任に伴い、当社取締役は1名減員の3名となりました。

2.新発売(4～12月)

医薬品 100mLドリンク 2アイテム、 医薬品 50mL・30mL内服液 4アイテム

医薬品 乗り物酔い止め 2アイテム、 医薬品 胃腸薬 1アイテム、 食品 アルミ缶飲料 1アイテム

○ 業績の概況 (第3四半期、平成24年4月～12月)

(千円)

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
売上高	2,720,975	3,182,650	3,413,364	3,606,619
経常利益	92,527	113,453	136,725	95,106

平成24年度
(第3四半期)
グループ各社

広貫堂グループ IR情報

広貫堂薬品販売 株式会社

○ 事業の概況 (業績、事業運営等の概況)

(財務面)第3四半期(4月～12月)販売面では、前年同期14億6500万円に対し14億8800万円前年同期比 101.5%、利益面では前年同期6000万円に対し経常損失1億5400万円で推移しました。

(事業運営面)地域リーダーを中心に同行販売を実施し客先面談時の業務改善を図り、営業員による新規顧客獲得を推進した結果として懸げ場引き上げ件数の抑制をすすめました。
新製品ファイトタイムVの販売を開始すると共にソーシャルメディア活用による情報共有に取り組み、販売現場に近い距離からの情報分析を実施しました。

○ トピックス、適時情報

- 10月、廣貫堂より通信販売事業を薬品販売へ事業移管され、通販事業グループ部長として飛田部長が廣貫堂より転籍しました。
- 12月22日新卒者の内定者懇談会を開催しました。内定者数は23名となりました。

○ 業績の概況 (第3四半期、平成24年4月～12月)

(千円)

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
売上高	1,380,139	1,455,087	1,465,163	1,488,220
経常利益	7,076	-24,761	-60,192	-154,592

トキワ広貫堂 株式会社

○ 事業の概況 (業績、事業運営等の概況)

(財務面)第3四半期は、各種改革効果が少しずつ現れてきており、販売面では、前年同期比102.1%、利益面では、前年同期経常損失1700万円が経常損失100万円と黒字化に向けた効果が現れてきております。通期においては、販売面では、前年同期比83.3%目標比58.2%、利益面では、前年同期経常損失4200万円、今期経常損失2000万円と苦戦致しております。今期末に向けた取り組みを強化するとともに、新年度の基盤強化の為スピード感を持った活動を行ってまいります。

(事業運営面)新規商品である「ファイトタイム」を11月中旬から配置促進しており今後に期待が持てるとともに、短期商品としては、12月～分かり易く、体感出来る商品として「おいしい乳酸飲料」の愛用者づくりを行っております。

○ トピックス、適時情報

- 1月11日(金)塩井代表に乘社して戴き、広貫堂グループの現状、グループ会社ミッションを明確に説明して戴いた。
- 同日インフォーマル会議を開き積極的な意見交換を行った。

○ 業績の概況 (第3四半期、平成24年4月～12月)

(千円)

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
売上高	286,977	270,423	207,749	173,062
経常利益	-1,824	-16,056	-41,548	-20,875